

## 1. 目的

本会は、高専の技術職員が日常業務で携わっている広範囲な技術や教育研究支援活動など技術職員による技術教育について発表する機会とする。また、日常業務から生まれた創意工夫や提案および失敗談も重視し、技術職員の資質向上と交流を図り技術教育の充実を目的とする。

## 2. 主催

木更津工業高等専門学校教育研究支援センター

## 3. 開催日時、会場

平成24年 3月 5日(月) 13時 ~ 3月 6日(火) 12時 木更津工業高等専門学校

## 4. 発表分野

第一会場 : 技術的教育研究支援に関わる発表(実験・実習, 学生指導に関わる技術発表)

科学研究等補助金採択による研究発表

第二会場 : 公開講座, 出前授業など地域貢献に関わる発表

技術職員セミナーなど技術職員の啓発に関わる発表

## 5. プログラム

3月 5日(月) 第1日目

13:00 開会式

13:30 発表

16:00 特別講演「高専機構の産学官連携活動の実情について」

高専機構理事 五十嵐 一男

18:00 情報交換会

3月 6日(火) 第2日目

9:00 発表(沼津高専におけるABS樹脂成型機の運用報告を発表)

11:30 閉会式

12:00 施設見学(実習工場等)

## 5. 所感

この度は、3次元樹脂造形機について発表を行わせていただいたが、質疑・応答の中で他の高専での3次元造形機の運用について情報を得ることができ有益であった。他者の発表では、実費で技能検定資格を取得した事例が紹介されており、同じ技術職員として、自己の技能を磨くことを継続していかねばならないと刺激を受けた。また、他高専の施設を見学する機会はなかなか無いので、改修工事が終わった工場施設を見学をさせていただき参考になった。

平成24年 3月 9日

### 第3回高専技術教育発表会 in 木更津 参加報告書

実習工場班 中川 秀則  
電気電子情報班 原田 龍一

第3回高専技術教育発表会に参加してきたので報告する。

#### 1. 目的

本会は、高専の技術職員が日常業務で携わっている広範囲な技術や教育研究支援活動など技術職員による技術教育について発表する機会とする。また、日常業務から生まれた創意工夫や提案および失敗談も重視し、技術職員の資質向上と交流を図り技術教育の充実を目的とする。

#### 2. 主催

木更津工業高等専門学校教育研究支援センター

#### 3. 開催日時、会場

平成24年 3月 5日（月）13時 ～ 3月 6日（火）12時  
木更津工業高等専門学校

#### 4. 発表分野

第一会場：技術的教育研究支援に関わる発表(実験・実習，学生指導に関わる技術発表)  
科学研究等補助金採択による研究発表

第二会場：公開講座，出前授業など地域貢献に関わる発表  
技術職員セミナーなど技術職員の啓発に関わる発表

#### 5. プログラム

3月 5日（月）第1日目

13:00 開会式

13:30 発表

16:00 特別講演「高専機構の産学官連携活動の実情について」

高専機構理事 五十嵐 一男

18:00 情報交換会

3月6日(火)第2日目

9:00 発表

11:30 閉会式

12:00 施設見学(希望者)

## 6. 所感

これまで参加してきた大学主催の研究発表会とは異なり、本発表会は高専技術職員の身近な問題や創意工夫を題材としたものが多かった。教育用電算システムや学内 LAN システム等の情報システムの障害に関する対応法を記録・整理し共有化するツールの紹介や、出前授業や公開講座、科学イベント等を通じた地域貢献活動に関する報告など、本校でも課題となっているものに関する発表もあり、とても参考になった。その他、情報交換会や施設見学などから他高専の実情を知ることができた。今後も高専技術職員の研究や活動を報告する場として、そして他高専職員との情報を交換する場として重要になってくるのではないかと感じた。(原田)

高専技術職員における工場職員の割合が多いためか日ごろの業務に関係するものを聴講し続けることができた。特にアーク溶接の可視化に関する発表は興味深く、経験と手の技術による加工を少しでも最新技術を駆使して「誰でも簡単に」を目指す研究であった。十分、今後の研鑽や研究のヒントとなりうると感じた。また、開催地の木更津高専は数年前に工場の改修が行われたため、最後の施設見学の折に、主に改修に関わった工場職員の方とお話できたことにより、有用な情報を得ることができた。情報交換会では多くの方々と交流できたので今後もこのネットワークを生かし、利用していきたい。

(中川)



発表風景